

照明学会編. 照明ハンドブック. 第2版, オーム社, 2003, 573p.
矢田純一. 臨床医のための免疫キーワード 110. 第4版, 日本医事新報社, 2017

- 序文
- ■ 第 I 章 リンパ球 1
 - I -1) 獲得免疫と自然免疫 2
 - I -2) 自然リンパ球 (ILCs) 4
 - I -3) B1 細胞と B2 細胞 6
 - I -4) CD4+T 細胞のサブセット 8
 - I -5) $\gamma\delta$ T 細胞 10
 - I -6) 自然 T 細胞 (innate T cell) 12
 - I -7) NK 細胞と NK レセプター 14
- ■ 第 II 章 自然免疫 17
 - II -1) 病原体関連分子パターン (PAMPs) に対するレセプター (PRR) 18
 - II -2) Toll 様レセプター (TLR) 20
 - II -3) 危険 (傷害) 関連分子パターン (DAMPs) 22
 - II -4) M1 細胞・M2 細胞 24
 - II -5) マクロファージによる死細胞の処理 26
 - II -6) Fc γ レセプター 28
- ■ 第 III 章 抗体 31
 - III -1) T 細胞非依存性抗原 32
 - III -2) 完全抗原・不完全抗原 34
 - III -3) 免疫グロブリンのクラススイッチ 36
 - III -4) IgG サブクラス・IgA サブクラス 38
 - III -5) 移行抗体と児の感染防御, 免疫病 40
- ■ 第 IV 章 抗原認識 43
 - IV -1) 抗原レセプターの遺伝子再編成 44
 - IV -2) T 細胞の抗原認識 46
 - IV -3) 共刺激シグナル 48
 - IV -4) 樹状細胞 50
 - IV -5) 抗原提示 52
 - IV -6) プロテアソームと抗原提示 54
 - IV -7) スーパー抗原 56
- ■ 第 V 章 免疫応答 59
 - V -1) 接着分子 60
 - V -2) リンパ球のホーミング 62

- V-3) 免疫学的シナプス 64
- V-4) 熱ショック蛋白 (HSP) と免疫応答 66
- V-5) オートファジーと免疫機能 68
- V-6) リンパ球の細胞傷害作用 70
- V-7) 細胞質顆粒の内容放出機序 73
- V-8) アポトーシスとネクローシス 74
- V-9) リンパ球の機能と レチノイン酸 76
- V-10) 免疫学的記憶とメモリー B 細胞・メモリー T 細胞 78
- V-11) 腸内共生菌の免疫系への効果 80
- V-12) 免疫系の老化 82
- V-13) 免疫機能の性差 84
- 第VI章 リンパ組織 87
- VI-1) リンパ濾胞・胚中心 88
- VI-2) 脾辺縁帯と免疫 90
- VI-3) 粘膜関連リンパ組織 92
- 第VII章 補体 95
- VII-1) 補体の活性化経路 96
- VII-2) 補体の活性化経路 98
- VII-3) 遺伝性血管性浮腫 100
- 第VIII章 サイトカイン 103
- VIII-1) インフラマソームと IL-1 β , IL-18 の分泌 104
- VIII-2) IL-17 と炎症 106
- VIII-3) I 型インターフェロンの抗ウイルス作用 108
- VIII-4) インターフェロン γ と免疫応答 110
- VIII-5) 腫瘍壊死因子 (TNF- α) 112
- VIII-6) ケモカイン 114
- VIII-7) BAFF・APRIL と B 細胞活性化 116
- VIII-8) TGF- β と免疫応答 118
- VIII-9) IL-10 と免疫応答 120
- 第IX章 感染防御 123
- IX-1) 抗微生物ペプチド 124
- IX-2) ウイルス防御の免疫機構 126
- IX-3) 細菌防御の免疫機構 128
- IX-4) 食細胞と活性酸素 130
- IX-5) ウイルスの免疫回避機構 132
- IX-6) カンジダ防御の免疫機構 134
- IX-7) マラリア原虫防御の免疫機構 136

- 第X章 免疫不全症 139
- X-1) 重症複合免疫不全症 140
- X-2) X連鎖リンパ増殖性 142
- X-3) 高IgE症候群 144
- X-4) 慢性粘膜皮膚カンジダ症 146
- X-5) マイコバクテリア易感染性疾患 148
- X-6) 自然免疫系の不全症 150
- X-7) 自己炎症性疾患／周期性発熱症候群 152
- X-8) AIDSにおける免疫異常 154
- 第XI章 免疫制御 157
- XI-1) レギュラトリーT細胞 158
- XI-2) 免疫制御細胞 160
- XI-3) T細胞の正の選択・負の選択 162
- XI-4) 自己反応性B細胞の非働化 164
- XI-5) 免疫トレランス 166
- XI-6) 経口トレランス 168
- XI-7) miRNA, アンチセンスと免疫応答 170
- XI-8) 活性化T細胞のフィードバック分子 172
- XI-9) 活性化誘導細胞死 174
- 第XII章 アレルギー 177
- XII-1) I型アレルギーの機序 178
- XII-2) 自然型アレルギー性炎症 180
- XII-3) 遅発アレルギー反応 182
- XII-4) アレルギーによる組織リモデリング 184
- XII-5) クラスII食物アレルギー 186
- XII-6) マスト細胞の活性化 188
- XII-7) マスト細胞活性化の制御 190
- 第XIII章 自己免疫疾患 193
- XIII-1) 自己免疫疾患発症のToll仮説 194
- XIII-2) 隔絶抗原・潜在抗原と自己免疫反応 196
- XIII-3) レギュラトリーT細胞と自己免疫反応 198
- XIII-4) 補体と自己免疫疾患 200
- XIII-5) 外来性抗原による自己免疫反応誘導 202
- XIII-6) 刺激抗体による疾患 204
- XIII-7) 多内分泌腺性自己免疫症候群 (APS/APECED) 206
- XIII-8) 1型糖尿病・2型糖尿病と免疫 208
- XIII-9) クローン病の成因 210

- XⅢ-10) 抗リン脂質抗体症候群 212
- 第XⅣ章 腫瘍免疫・移植免疫・生殖免疫 215
- XⅣ-1) 腫瘍の免疫回避機構 216
- XⅣ-2) 移植片対腫瘍効果・移植片対白血病効果 218
- XⅣ-3) 超急性移植拒絶反応 220
- XⅣ-4) 妊娠の維持とリンパ球 222
- 第XⅤ章 免疫学的検査・予防・治療 225
- XⅤ-1) 感染症の診断と抗体測定 226
- XⅤ-2) 血液型と同種赤血球凝集反応 228
- XⅤ-3) リンパ球刺激試験 230
- XⅤ-4) 人工抗体 232
- XⅤ-5) イムノアドヘシンと免疫疾患の治療 234
- XⅤ-6) 癌のミサイル療法 236
- XⅤ-7) 感染防御機構とワクチン 238
- XⅤ-8) アジュバント 240
- XⅤ-9) 癌ペプチドワクチン 242
- XⅤ-10) 免疫グロブリン大量療法 244
- XⅤ-11) 腫瘍の免疫チェックポイント阻害療法 246
- XⅤ-12) キメラ抗原レセプター (CAR) 遺伝子導入T細胞による腫瘍の治療 248
- 索引 250